

令和2年度第1回 関西広域産業ビジョン推進会議 議事要旨

【日時】 令和2年10月12日（月） 14時から16時

【場所】 大阪工業大学 梅田キャンパス「OIT 梅田タワー」2階 セミナー室204

【出席者】 別添名簿のとおり

【議事】

1. 令和3年度以降の事業展開について（資料1）
2. 令和2年度広域産業振興局事業の中間報告について（資料2-1、2-2）
3. 令和3年度広域産業振興局事業（案）について（資料3-1、3-2）

【委員からの主な意見】

（議事1）

- ・ スタートアップエコシステムに関し、グローバル拠点都市の認定は大きな引き金。量的中核は京阪神だとしても、域内全体をつなげていくことが連合の役割。全体の浮揚につながるような連携の構図をどう作っていくか、うまい仕掛け、仕組みを協議しながら進めていくべき。
- ・ スタートアップエコシステムの推進は、関西の「創業の地」としてのプレゼンスをもう一度アピールする絶好のチャンス。各府県の取組みが地域内のみで取り込まれることのないよう、相互乗入型で一体的に取り組んでいくべき。

（議事3）

- ・ 広域連合設立から10年経過した次のステップとして、情報収集、発信だけではなく、施策の融合・一体化に官民連携で取り組んでいくべき。
- ・ 広域産業振興は本来、民がリードして、国、自治体はバックアップ機能を担う。民が牽引していく構図を打ち出していくべき。